

第 15 回
村民との意見交換会及び議会報告会

報 告 書

2023 年 11 月
読 谷 村 議 会

令和5年度 第15回村民との意見交換会及び議会報告会

A班 上地利枝子 仲眞朝雄 與那覇徳雄 江田守恭

日時：令和5年11月7日（火）午後7時～

場所：大添公民館 参加人数14名

質問1 台風6号の崖崩れ対策の対応が遅い。県議会への陳情の回答もまだ。ローヤルレストラン裏も少し崩れている。今後、議員や村がどのように進めていく予定か？どうアプローチしていくのか？

答 崖崩れの件は、県から現状の報告が村の総務課へあるので、その都度自治会に報告するようになっている。

質問2 調査の予算は？

答 調査予算は予算化されたが、今後は県議会の方で決まり次第村に連絡が来る予定。

※予算額によって工事内容や対策が不十分になることも予想されるので、その辺もしっかり抑えて欲しい。

質問3 崖地周辺は定期的（4年に一度は）伐採作業を行っていただきたい。

答 崖地周辺の伐採に関しては県の管轄であるので県との調整になる。

質問4 4班（県道より南側）の防災無線が聞こえない。聞き取りにくい等の原因を調査してほしい。

答 現場を確認する。風向きによって聞こえづらい地域もある事から現在スマートフォンを活用した情報提供ができるようになっている。

問5 県道6号線の交通渋滞を解消してほしい。

(意見) トリイ基地内から道路を通せば渋滞緩和に繋がると思うが

答 計画中の村道(伊良皆～波平線など)が整備されれば少しは解消するのでは。

質問6 なぜ58号線は2車線なのか?大木バイパスを作るよりも58号線を3車線にしたほうがはるかに良い。

答 国道なので決定権は国にある。

質問7 台風6号の崖崩れによって、危険箇所(レッドゾーン)に指定され、不動産の価値が下がるので固定資産税も下げるべきである。

答 不動産の価値は土地評価に基づくものであり評価額が変わらない。

質問8

① 飛行場のダイオキシン問題が10年になるが根本的な解決にはなっていない。

答 現在村の企画政策課、農業推進課、生活環境課と対応について検討会を開催している。村として処理管理については国に要請をしている段階。時間がかかりすぎるので、村独自の対応についてプロジェクトチームを作って対応していく。

② 都屋の住宅地周辺の水質調査で17倍のヒ素が検出されたが。

答 村としては、周辺のモニタリング調査をしている。6箇所の調査を行なっているが大きく数値が上がっている傾向ではない。

③ 当初の中央残波線ルート of 硫化水素ガス問題はどうか。

答 ガス問題については、県と土地の所有者管理のもとで調査を行なっている。毎年調査を行なっていて数値的には、少々 of ガスは検出されているが、安定するまでは調査を継続し、県と土地所有者の管理のもとで調査を行い、村へ報告することになっている。

質問9 楚辺～座喜味線の勾配は国の基準に適合していない（勾配や歩道の幅等）改善してほしい。

答 当該道路は村道整備プログラムにおいて長期計画に位置づけされており伊良皆～波平線と県道6号線の接続方法も含め今後検討していく。

質問10-1 令和4年5月23日「産業廃棄物処理施設設置計画の撤回について」

陳情を昨年5月に出したが議会が動かないのはなぜか？陳情が不採択になった経緯は？

答 陳情は不採択ではなく議会運営委員会において各議員への資料配布となっている（議員提案はなかった）

追加 A班と文化センターで、同じ方から同じ内容での質問がありました。文化センターの報告書に答えが載っているとの判断で、A班の報告書には載せませんでした。しかし、質問したご本人から申し出がありましたので、今回追加したいと思います。

質問 10-2 産業廃棄物について。17年前には反対したが、今回反対しないのはなぜか。議会が動かないのはなぜか。土壌汚染に対して動かないのか。都屋？楚辺？の井戸から基準値の17倍のヒ素が検出されている。

答 前は管理型産業廃棄物処理場（新設）の反対を村民、行政、議会挙げて取り組んだ結果、事業者が申請を取り下げた。今回は既存の安定型産業廃棄物処理事業であり、許認可権者の沖縄県の判断を見守る対応となっております。

質問 11 役場周辺の空き地を活用して産業を増やしては？ 村内に働く場所があれば交通渋滞の解消にもなるのでは？ 議会としてどう考えているか？

答 2年後に情報センターができる。図書館、飲食店等ができる予定なので活発化し、働く場所も増えていくものとする。

質問 12 給食費無料はいつになるのか？ 他市町村では医療費の助成の幅が大きかったり、塾に対しての助成金があるところもある。

※給食費だけでなく、子育て世帯に他の部分で還元されていると感じたらしい。子育て世代に優しくない。

答 村単独でやると年間で2億円ほどかかる。すぐに答えの出せる問題ではないが、国や県の動向を注視していきたい。

質問 13 就学援助が通りにくいと聞く、線引きが必要なのはわかるが^{はざま}間の世帯の厳しい状況をわかって支援してほしい。

答 就学援助は要保護・準要保護に対応しており、実績として令和4年度の受給率はアップしている（小学校512名 中学校263名）

A班 上地利枝子 與那覇徳雄 仲眞朝雄 當間良史 江田守恭

日時：令和5年11月14日（火）午後7時～

場所：比謝公民館 参加人数 12名

質問1 比謝地域は、伊良皆から上がっていく道が閉鎖され役場へ行くとき不便である。国道バイパス整備において比謝横断線との交差など便利にしてほしい。

答 伊良皆～波平線、大木～喜名線など、村道計画はあるが南部地域の方が役場方面に行くには不便と感じられる 国道バイパスと比謝横断線との交差の設計は未定である。

質問2 比謝横断線はいつできるのか、また国道バイパスの進捗状況は。

答 設計段階である。国道バイパスは令和7年度に共用開始予定。

（要望）国道、県道であっても地元の意見を聞いて計画してほしい。その役割を議員の方にしていきたい。

質問3 比謝2号線・3号線前の排水路が汚い。清掃は年に何回やっているのか？

答 早急に対応する。

質問4 比謝公園の境界にあるフェンスの外側の草刈り清掃は読谷村で対応してほしい。フェンスが壊れているので直してほしい。

答 民有地なので、地主に対応していきたい。

質問5 比謝公民館の周辺は細道が多く暗いので街灯をつけてほしい。

答 村の担当者が現場確認する。

問6 比謝大木線の電柱が邪魔で危険で事故もある。歩道も必要では？

答 電柱が障害になりスピードを落とすため安全と考えている人もいて賛否がある。比謝横断線等が整備されると改善すると考える。

問7 わんぱく広場（毎週水曜日開催）しているが他の地域と比べ車での登下校が多く、歩いて帰る児童が少ない。公民館に子供を集めて地域に参加してもらうためにはどうしたらいいか。

答 自治会の魅力を発信していく必要がある。読谷村の自治会加入率は50%を切ったが、他市町村と比べると加入率は高く活動も活発である。自治会のコミュニティーを守るためにも現在の活動を頑張って続けてほしい。

質問8 財源が厳しい。どうにかできないか？

答 地域進行交付金が適用されているが村民が増えているのに予算は変わっていない。議会でも引き続き問題視していく。

質問9 コロナのワクチン接種の仕方が変わり、摂取できない人がいる。以前の形に戻してほしい。

答 65歳以上については、個人宛に通知している。5類に分類されてからタクシーの無料券が配布されていない為、高齢者の皆さまは不便を感じて

いると思う。診療所での接種申込については落ち着いてきているので待つ事なく接種可能となっている。

質問 10 比謝団地自治会と比謝自治会を合併して活動できるのか。

答 団地と自治会を合併しての活動については、地域発展の為に頑張っていたきたい。

C班：伊佐眞武 長濱宗則 山城正輝 与那覇沙姫 平良勝志

日時：令和5年11月9日（木）午後7時～

場所：喜名公民館 参加人数9名

質問1 村内の道路や歩道は、暗い所と明るい所の差がある。歩道のない所をスピードを出す車もある。安全対策が取れないか。

答 担当課によると、「防犯灯は年平均300万円位の設置予算で毎年20基位設置している。設置基準は通学路、人の往来が多い所、電柱があるかどうか等調査して設置している。具体的な場所が分かれば調査したい」との事。車のスピード対策は、交通ルールの徹底や地域住民の合意を得たハンブの設置も考えられます。

質問2 子ども達を通る道路の交通安全のため、草刈りをして欲しいがどこの部署にお願いすれば良いか。

答 距離が長い所は都市計画課へ相談し、短い所は生活環境課が対応します。

質問3 村まつりの時、トイレが非常に混んでいる。子ども達の安全安心のため簡易型の子供用トイレがあれば良い。

答 提案として受け止めます。担当課の話では「まつり会場近くの既存の3ヶ所のトイレと5つの簡易トイレの設置で対応しており、村職員によって空いている所に誘導しているのが現状。今後は既存のトイレの設置場所の表示・案内にも力を入れていきたい」との事です。

質問4 野良猫が多くなり、糞の被害や車への傷付け、住宅への侵入もある。どう対応すれば良いのか。

答 猫の場合、取り締まる法律が無く愛護の観点から捕獲は厳しい。村としてはまず、猫に餌を与えないで欲しい、飼い猫であれば室内で飼って欲しい。村の野良猫対策として、生活環境課で超音波の猫よけ器を1週間無料貸付しているのので、効果があれば購入を薦めています。

質問5 鳳バスを通学等に活用出来ないか。

答 鳳バスは3本あり、現状でも通学時間内に村役場を經由して運行している。目的としては、村内の交通弱者の為の事業である。通学時間内に鳳バスを利用しても1台に30人しか乗車出来ず、同時に同じ方向への運行は出来ない事から、現状は厳しいと思われます。

質問6 令和元年にも意見交換会があったが、その時出た意見や要望の進捗はどうなったのか確認ができないのが勿体ない。19名揃った意見交換会があっても良いのでは。

答 意見交換会で出た意見や要望は、全員協議会で各班の意見を報告し、執行部に政策提起すべきものを精査している。令和元年は喜名区から出た「防犯カメラの設置」も政策提起の1つでした。
19名全員の意見交換会については全員協議会に諮ります。

質問7 喜名区は住宅密集地であり、防災対策として避難場所が必要。10年位前に、小糸製作所跡地を公園整備出来ないか要望書を出したが進捗はどうなっているのか。

答 担当課の話では「当該地は都市公園としてはハードルが高く、使い易い広場として位置付け、当面はトイレの設置を考えている」との事です。

質問8 比謝地域に住んでいるが防災無線が聞き取りにくい時がある。

答 担当課の話では「設計上は聞こえるようになっている。今はデジタル化し、文字を打ち込んで音声化しているが、風向きによっては聞き取りにくい時もあると思う。村として、防災・行政情報を村民一人ひとりに知らせるため、スマホにメール登録する事も薦めている」との事です。

質問9 各自治会以外でも、未加入でも参加しやすい雰囲気を作ってほしい。

答 他市町村では、商業施設や公共施設で開催する所もあった。そうする事で、参加しやすくなるかも知れないと感じた。これはまた改善できる課題として議員で反省、評価をしていきたい。

質問10 路上駐車対策として、読谷村は車庫証明についてどう考えているのか。

答 村の担当課の話では、「県内では、南部都市部広域に法律の網がかかっている。嘉手納町の場合は地域柄狭いということで例外的に必要としている。本村全域で車庫証明が必要となると厳しい」との事。この件は嘉手納署内の交通安全協会にも問い合わせた所「車庫証明に関する法律は昭和37年に制定され、全国的に車庫証明が必要な所が決まった。それ以来、法律の改正はなく現在に至っている。市町村の条例だけでは決められず、例外として必要な場合も市町村と住民の合意形成を図り、窓口の嘉手納署を通して県本部、更に本庁への申請と、法改正のハードルはかなり高い」との事です。

E班：國吉雅和 山内政徳 當間良史 比嘉幸雄 神谷嘉栄 松田昌邦
城間真弓 江田守恭

日時：令和5年11月12日（日）午後2時～

場所：文化センター中ホール 参加人数5名

質問1 読谷村が寄付をするときは議会の議決事項なのか。ウクライナ支援金等。

答 行政から議会へ提案をし、議会が承認して初めて使われる。当初予算に組み込まれている場合は必要ない。

質問2 楚辺、大添の交通渋滞と中央残波線のルート変更について。

答 中央残波線のルート変更は、旧産業廃棄物処理場問題が発生し、3案のひとつであった現在のルートになった。また、中央残波線の北進は来年から15年をかけてアリビラホテル方向へ進めていく。

質問3 新聞報道によると令和4年度の陳情27件中2件の委員会付託は少ない（7%）ことについて。

答 令和4年度は6月議会で12件（27件中）の受付けでありましたが、6月議会は任期最終議会であり審議時間が確保できなかった。

質問4 産廃問題について。17年前には反対したが、今回反対しないのはなぜか。議会が動かないのはなぜか。土壌汚染に対して動かないのか。都屋？楚辺？の井戸から基準値の17倍のヒ素が検出されている。

答 前回は管理型産業廃棄物処理場設置（新設）の反対を村民、行政、議会を挙げて取り組んだ結果、事業者が申請を取り下げた。今回は既存の安

定型産業廃棄物処理事業であり、許認可権者の沖縄県の判断を見まもる。

質問5 請願の紹介議員に議長、副議長、正副委員長がなれないのはおかしい。

答 なれないのではなく、好ましくないとのこと。議長はなれない。

質問6 古塙にある空き家、空き地が荒れている。以前は近所の方が草刈り等をしていたが、現在フェンスがされており、不法投棄やハブの心配がある。相談はどこですか。

答 現場確認をし、担当課より地主へ通知すること。

質問7 産休、育休になると保育が時短になるので改善してもらいたい。

答 要望として受け止める。

※要望 不登校が身近で増えている。不登校の子ども達への支援や対策等を議員や親同士で意見交換、情報交換等をする機会があればいいと思う。不登校児の居場所が、学校か自宅と2択だけだとハードルが高くて行けない子も多い。青少年センターもあるがそこにも行けない子もいる。段階的な居場所、支援体制が必要だと思う。